



山梨県立 都留高等学校



所在地 〒401-0013 大月市大月 2-11-20

電話 0554-22-3125

FAX 0554-22-0902

URL <http://www.tsuru-h.ed.jp>

E-mail info@tsuru-h.ed.jp

創立 明治33年4月17日

課程 全日制・定時制

利用交通機関 JR中央線大月駅下車 徒歩8分
富士急行線上大月<都留高校前>駅下車
徒歩2分

教員数 54名(全日制48名 定時制6名)

生徒数 688名

学科	1年		2年		3年		4年		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
全日制単位制普通科	107	113	122	99	127	108			676
定時制普通科	1	0	1	1	3	0	4	2	12

校訓
質実剛健・自学進取

学校の特徴

本校は、明治33年の創立以来、一世紀以上にわたり、県内屈指の伝統校として地域に深く根を下ろしてきました。卒業生は三万名を数え、現在も各界に優秀な人材を輩出し続けています。

本校の最大の特徴は、自由な雰囲気のもと、生徒一人一人が、様々な活動に懸命に取り組み、生き生きとした学校生活を送っている点にあります。

以下は本校生徒の生の声です。参考にして下さい。

平成31年度 2年次男子

都留高校は「質実剛健・自学進取」の校訓のもと、質の高い文武両道を目指す学校です。

私はSAクラスに所属しているので、日頃の授業だけでなくいろいろな方の講義を聴いたり、様々な施設を見学したりする機会が多く、とても充実した高校生活を送っています。また、バドミントン部では、関東大会に出場するなど貴重な体験をすることができました。

勉強と部活を両立するのは大変ですが、先生方の厚いサポートや切磋琢磨できる仲間がたくさんいるので頑張ることができます。都留高校は、充実した高校生活を送りながら成長できる学校です。

平成31年度 2年次女子

都留高校は高いレベルでの文武両道が実現できる学校です。先生方が丁寧な指導と手厚いサポートをしてくださるので、進路実現に向けて励むことができます。

私は吹奏楽部に所属し、自分自身はもちろん、バンドのレベルアップを目指し毎日努力しています。学業だけではなく、行事や探求活動に積極的に取り組むことで成長できたと思います。

日々の生活も充実していて楽しいです。都留高生は様々なことに自ら進んで取り組み、自分の力を伸ばしていくことができると思っています。都留高校は、心身ともにたくましく成長できる学校です。

単位制普通科

本校は平成14年度より単位制に改編されています。単位制高校の利点を生かし、生徒の能力に応じた多様な科目を用意するとともに、生徒の可能性を十分に伸ばし、より豊かな人間性を備えた人材を育てていきます。

■教育目標■

- ① 総合的な人間力を高め、次代の地域と日本を担うグローバル人材を育成する。
- ② 個性と能力を最大限に伸ばさせ、第一希望の進路実現を図る。

■重点目標■

- ① より質の高い文武両道を目指す。
- ② 自他への思いやりや優しさを持つと同時に、困難を乗り越える強い意志と勇気を持った生徒の育成に努める。
- ③ 自ら学び、判断し、行動する姿勢を求め、次代の社会を担い、自立して生きていく力を培う。

定時制

定時制は、勤労青少年のためにつくられた課程で、本校には単位制普通科(夜間)が設置されています。働きながら学ぶ生徒には教科書無償制度や給食の補助等の特典があります。通常4年間通学しなくてはなりません、中央高校通信制との併修により3年で卒業することも可能です。

自学研鑽室

本校には、大小合わせて三つの「自学研鑽室」(=自習室)が設置されています。「自学研鑽室」は、自主的な学習を行う場として、早朝、放課後、土・日曜日、長期休業中などに利用することができます。各座席がしっかりと仕切られ、学習参考書、新書をはじめとした書籍も充実しているので、静かで落ち着いた雰囲気の中、集中して学習に取り組むことができます。

昨年度の進学状況（人数）

昨年度の進学状況（人数）

（現役のみ）

◎国公立大学（総計）

東北大学（1） 東京海洋大学（1） 電気通信大学（2）
 東京大学（1） 東京学芸大学（1） 新潟大学（2）
 富山大学（1） 山梨大学（1） 信州大学（3）
 奈良女子大学（1） 前橋工科大学（1）
 首都大学東京（3） 横浜市立大学（1）
 山梨県立大学（7） 都留文科大学（10）

◎私立大学（総計）

慶応大学（1） 明治大学（1） 青山学院大学（1）
 中央大学（3） 法政大学（2） 立教大学（1）
 日本大学（5） 東洋大学（3） 駒澤大学（3）
 専修大学（2）
 他多数

平成30年度 進学者数

国公立【46】 私立【115】 大学校【2】 短大【7】
 専門(医療系)【6】 専門(その他)【11】

部活動の状況

本校の部活動は大変活発で、大多数の生徒が学業との両立を図り文武両道を実践しています。部活動を通して、仲間と共に切磋琢磨し合い、心身を鍛えたり、感性を高めたりしています。

体育局

野球・陸上・サッカー・水泳・ハンドボール・ソフトテニス・卓球・ワンダーフォーゲル・バレーボール・バスケットボール・バドミントン・剣道・柔道・空手道

文化局

吹奏楽・美術・書道・茶道/華道・写真・軽音楽・文芸・放送・合唱・囲碁将棋・箏曲・自然科学

同好会

ボランティア・英語・演劇・新聞

※平成31年度県高校総体

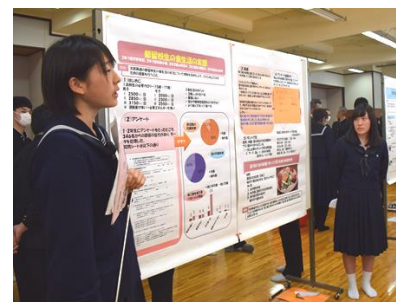
男子総合 10位 / 女子総合 20位



自ら「学ぶ力」「考える力」「実現する力」に効く！

『都留高探究プロジェクト』

本校では「総合的な学習の時間」において、1,2年次生全員が「都留高探究プロジェクト」に取り組んでいます。これは、生徒一人ひとりが社会



や地域の課題に目を向け、そのなかで「もっと知りたい」「解決したい」と思うことについてテーマを設定し、探究する活動です。書籍やインターネットのみを用いた調べ学習ではなく、研究手法に「実験、観察、フィールドワーク、施設訪問、インタビュー」など、「アクティブな探究活動」を必須としている点に、本校ならではの特徴があり、SSH 2期10年の指定研究の成果が大いに活かされています。

「岩殿山礫岩層の礫の起源」（芸術文化祭賞受賞）「ウスバキトンボの飛翔能の性差」（教育長奨励賞受賞）「誰もが住みやすいまちづくり」等、研究テーマは多岐に渡り、生徒は本探究活動を通して「主体的に学び、論理的に考える力」「人と協働する力」「行動し、実現する力」など、座学だけでは身につかない、様々な「生きる力」を育てています。

—都留高探究プロジェクト 生徒感想—

・いろいろな人にインタビューできたので、とても楽しかったです。
 ・ボランティアを行って、あらためて社会へ貢献することの大切さを学べて良かった。

主な学校行事

4月	始業式・入学式・対面式・校外オリエンテーション・応援練習
5月	県高校総体・創立記念日・第1回定期試験
6月	若鶴祭
7月	三者懇談・夏季休業・夏期課外・登校学習会・全国高校総体・全国高校総文祭・SAサマーキャンプ
8月	夏季休業・夏期課外・オープンスクール・サイエンスツアー
9月	第2回定期試験・体育祭
10月	芸術鑑賞会・新人戦
11月	県高校芸文祭・第3回定期試験
12月	三者懇談・修学旅行（2年次）・冬季休業
1月	冬季休業・大学入試センター試験・スキー教室（1年次）・文化局発表会
2月	第4回定期試験
3月	Global研修・つる探全体発表会・卒業式・球技大会・終業式・年度末休業